

ふくしま未来 営農情報 No.2

令和8年 春の農作業事故防止強化月間

期間 令和8年3月1日～5月31日

令和8年3月10日

JAふくしま未来営農経済部

春の農繁期は、トラクターなどの農業機械を使って農作業を行う機会が増えることから、農作業事故が多く発生します。また、脚立を使用して高所での剪定作業の転落事故も発生しています。農作業安全への意識を高め、事故防止に役立つ事項を確認していただく「春の農作業事故防止強化月間」を展開しています。農作業前に安全対策ポイントを確認しておきましょう！

！農作業事故ゼロ運動実施中！

高齢の農業者を中心に農作業事故が多くなっています。高齢者が安全に農作業できるよう、家族や地域で声をかけ合いましょう。

①安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用しましょう。

トラクターの転落・転倒による死亡事故の多くは、安全キャブ・フレームの無いトラクターで発生しています。乗用型トラクターの安全キャブ・フレームは、転落・転倒時の死亡事故を抑えるなどの高い効果があります。

②シートベルト着用を徹底しましょう。

令和9年から製造されたトラクターには、シートベルトの着用が義務化されます。転倒した際に体を守る為にも必ずシートベルトを着用しましょう。

③作業場所を確認し、危険な箇所にくばりをしましょう。

転落・転倒の場所は、ほ場から出入りする際の傾斜や法面のほか、道路やほ場の端から法面に転落・転倒するケースが多くみられます。作業機を傾斜に対して直角に向けてほ場を入退出するように注意するとともに、草刈りをして見通しをよくするなど作業前に作業する場所を十分確認し、危険が潜む箇所を少なくしておきましょう。

④正しい機械操作を行いましょう。

道路やあぜ道などで発生する事故の原因として多いものの一つに、片ブレーキがあります。道路走行時には必ず左右のブレーキペダルの連結を確認しましょう。

⑤田んぼから田植機出すときはバック（後退乗り越え）で出ましょう。

田植機は重心が後ろにあるので、昇降路や畔超えなどで、前輪が浮き上がるころがあります。また、足元が泥で滑りやすくなっているため、長靴の泥を落とし、田植機からの転落や捻挫などに気を付けましょう。

高所作業や収穫作業に伴う事故が増えています！

剪定作業やビニールハウス作成時の高所作業での事故が発生しています。

●ケース 1

脚立に乗って柿の収穫作業中に脚立が開いてしまい落下し腰を強打した。

【主な原因】

- チェーンのかけ忘れ
- 天板に乗っての作業（不安定な場所）

※足を滑らせて転倒する事例も発生していますので、ご注意ください。

脚立の事故



“慣れ”に要注意! 自らの身体能力を過信せず、高所で作業することの危険を認識しながら注意して作業しましょう!!

6つのポイント

- ・設置時に「トントン」と脚を踏み込む!
- ・天板に乗らない!
- ・天板が水平になるようにかける!
- ・開脚防止チェーンをかける!
- ・昇降時に物を持たない工夫!
- ・脚立から身を乗り出さない!

確認!

●ケース 2

高い場所にある桃の木の手入れしようとして、刃先をよく確認出来ずに自身の指も一緒に切ってしまった。

【考えられる原因】

- 収穫作業時の確認不足（よく見えなかったが、切れると思った。）

※寒さで指とハサミの動きが鈍くなります。

